

令和 7 年 2 月 18 日
総合政策局 国際政策課
海外プロジェクト推進課

2024 年度 海外インフラプロジェクト優秀技術者 14 名に表彰状

～表彰式や受賞者インタビューの様子を YouTube で公開予定～

海外インフラプロジェクトに従事した優秀な技術者を表彰する「海外インフラプロジェクト優秀技術者表彰式」を 2 月 13 日（木）に開催いたしました。

国土交通省では、海外インフラプロジェクトに従事した技術者の実績を認定するとともに、特に優秀な技術者を表彰する「海外インフラプロジェクト技術者認定・表彰制度」を運用しています。今年度の「海外インフラプロジェクト優秀技術者 国土交通大臣賞」及び「国土交通大臣奨励賞」受賞者の表彰式を 2 月 13 日（木）にハイブリッド形式で開催いたしました。

1. 表彰式開催概要

日 時 2025 年 2 月 13 日（木） 16:00～16:30

開催場所 国土交通省会議室（対面・オンラインのハイブリッド形式）

次 第 ・中野洋昌大臣祝辞（代読：廣瀬昌由技監）・小澤一雅委員長祝辞
・受賞者表彰（受賞者一覧は別紙 4・別紙 5 参照）

2. 表彰式結果概要

今年度の「海外インフラプロジェクト優秀技術者 国土交通大臣賞」受賞者 11 名、及び「国土交通大臣奨励賞」3 名の 14 名に対し、中野大臣（代読：廣瀬技監）及び海外インフラプロジェクト技術者評価委員会 小澤委員長（政策研究大学院大学教授）より祝辞が送られました。

受賞者代表に対して廣瀬技監より表彰状の授与が行われたのち、受賞者より受賞の喜びと今後の抱負を述べるスピーチがなされました。



表彰状の授与



副賞の授与



受賞者の集合写真

3. 「海外インフラプロジェクト技術者認定・表彰制度」について

国土交通省では、海外インフラプロジェクトに従事した技術者の国内事業への参加を促進するとともに、国内の技術者が海外進出しやすい環境を整えることを目的に、「海外インフラプロジェクト技術者認定・表彰制度」を運用しています。

5回目となる今年度は、2024年7月1日～8月31日にかけて認定申請及び表彰応募を受け付け、「海外インフラプロジェクト技術者評価委員会（委員長：小澤一雅 政策研究大学院大学教授）」での審議を踏まえ、実績の認定及び表彰者を決定しました。

本制度により認定・表彰した実績については、国土交通省発注の工事等において、技術者の能力等として評価されます。

（制度の概要は別紙1、委員会の概要は別紙2、2024年度の結果概要は別紙3を参照）

4. 受賞者の広報について

- 表彰式当日の様子は、後日、公式 YouTube「国土交通省 MLIT channel」にて公開予定です。
- 受賞者の横顔や従事プロジェクトに関するエピソードをとりあげたパンフレット、および代表者へのインタビュー動画についても、作成でき次第、順次公開いたします。

【問合せ先】

総合政策局 国際政策課 豊福、田中

海外プロジェクト推進課 西村、松尾

TEL 代表：03-5253-8111（内線25756、25823、25819）、

直通：03-5253-8312



海外インフラプロジェクト技術者認定・表彰制度について

目的

- 今後の海外進出や国内外の技術者の相互活用を促進するため、海外インフラプロジェクトに従事した本邦企業の技術者の実績を認定し、特に優秀な者については表彰するとともに、本認定・表彰の結果を国内工事・業務の入札時に評価する。

対象となる工事・業務

以下の海外建設工事又は業務の従事経験を有する本邦企業等に所属等する技術者※

【工事部門】

- ①発注者：外国政府/政府機関に準ずる法人(高速道路、鉄道、空港、電力に関する特殊法人、公社、公益法人、公益民間企業等を想定)、海外建設工事に関するBOTその他PPP形式の事業における特定目的会社、国際機関、日本政府又は政府関係機関
- ②受注者(JVの構成員を含む、ただし元請けに限る)：本邦法人またはその海外現地法人である海外建設工事(道路、河川、港湾、鉄道、空港、建築等)に従事した技術者(過去15年の実績)

【業務部門】

- ①発注者：上記に同じ
- ②受注者：上記に同じである建設関連業務(道路、河川、港湾、鉄道、空港、建築等の調査、詳細設計、施工監理)に従事した技術者(過去10年の実績)
＜国内における調査等のみをその内容とする業務は含まない＞

※重要な部分を担当した技術者を対象とし、一時的なサポート等の応援業務を含まない。

実績認定・表彰手続

【実績認定】

- 申請書類の内容を関係機関と連携して確認し、海外で従事した実績として国土交通省が認定※

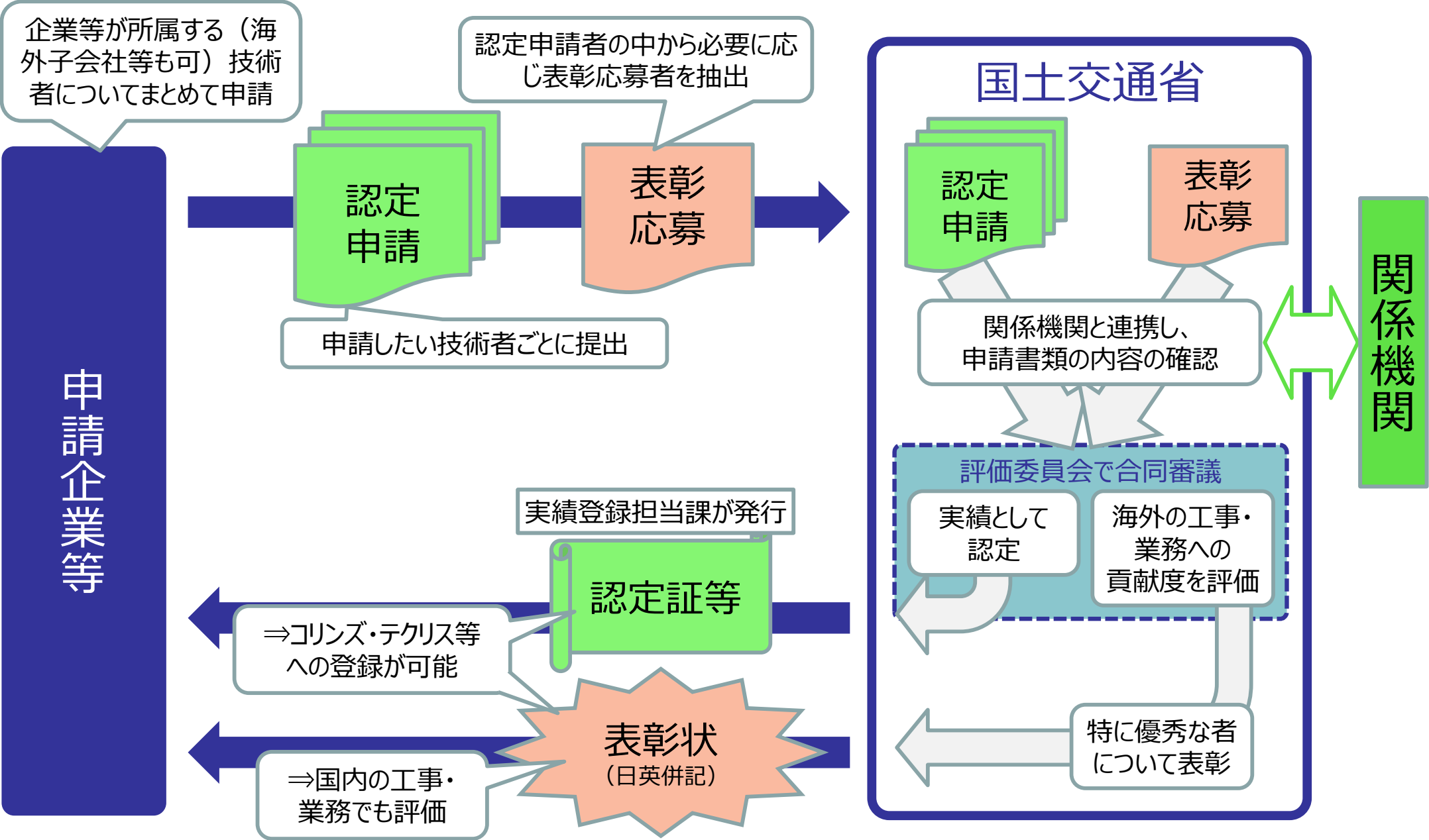
※ 技術者が所属する企業等(海外関連会社の場合国内親会社)が申請。

【表彰】

- 応募技術者が従事した海外の工事・業務における技術力・創意工夫・貢献度等を評価し、特に優秀な者について表彰(大臣賞)
 - ・ マネジメントに果たした役割、成果
 - ・ 直面した技術的な課題と対応
 - ・ 関係機関協議・調整での困難性、工夫して対処、解決した点
 - ・ その他外部からの評価からの視点 等を評価
 - 「海外インフラプロジェクト技術者評価委員会」を設置し、制度の検討や受賞者の選考を実施
- ⇒ 実績・表彰のコリンズ・テクリス等への登録が可能となり、国内工事・業務への門戸開放。

2024年度開催実績

- 2024.6.17 第1回委員会開催
- 2024.7.1-8.31 募集
- 2024.12.24 第2回委員会開催、受賞者選考





(参考)海外で活躍する技術者を国内で評価し海外展開を促す仕組みの構築

- 建設業の海外進出が必要な一方、海外での工事・業務の実績が国内工事等の受注にあたって評価されにくい状況。
- このため、海外工事等の技術者の実績を国として認定・表彰するとともに、国内工事等の入札・契約手続きにおいて当該実績を評価する仕組みを構築することで、国内外の技術者の流動化を促進し、建設業の海外進出を後押し。

背景

- 建設業の海外進出、技術者の国内外の相互活用を推進する必要。
- 一方、直轄工事等で実績評価の際に用いるデータベース（コリンズ・テクリス）への登録には、発注者の確認（サイン）が必要であることから海外の実績登録が進んでおらず、当該実績が国内工事等の調達において評価されにくい。
- 国内の工事等において、海外工事等の実績を評価する仕組みが必要。

■「今後の発注者のあり方に関する中間とりまとめ」に海外展開を促進する仕組みの構築の必要性が明記

今後の発注者のあり方に関する中間とりまとめ（2018.4 発注者責任を果たすための今後の建設生産・管理システムのあり方に関する懇談会）

5-4. 海外展開を促進する仕組みの構築

- ・JICA等の国際協力機関と連携して、海外における技術者の実績・成績等を国内工事・業務でも活用できるような制度構築の検討を行うべき。そのためにジ・エンジニアや海外実績の評価導入、海外実績、成績等の国内工事・業務への活用を検討すべき。

■品確法に基づく「発注関係事務の運用に関する指針」に海外での施工経験のある技術者の活用が明記

発注関係事務の運用に関する指針（R2.1 公共工事の品質確保の促進に関する関係省庁連絡会議 申し合わせ）

（競争参加者の施工能力の適切な評価項目の設定等）

- ・豊富な施工経験を有していない若手技術者や、女性技術者などの登用、民間発注工事や海外での施工経験を有する技術者の活用も考慮した要件緩和、災害時の施工体制や活動実績の評価など適切な評価項目の設定に努める。

海外工事等における技術者の実績を認定・表彰

- 海外で従事した実績を国土交通省が認定・表彰
- 2023年9月25日 募集開始
- 2024年2月～3月 表彰式・認定証の発行

直轄工事等における評価

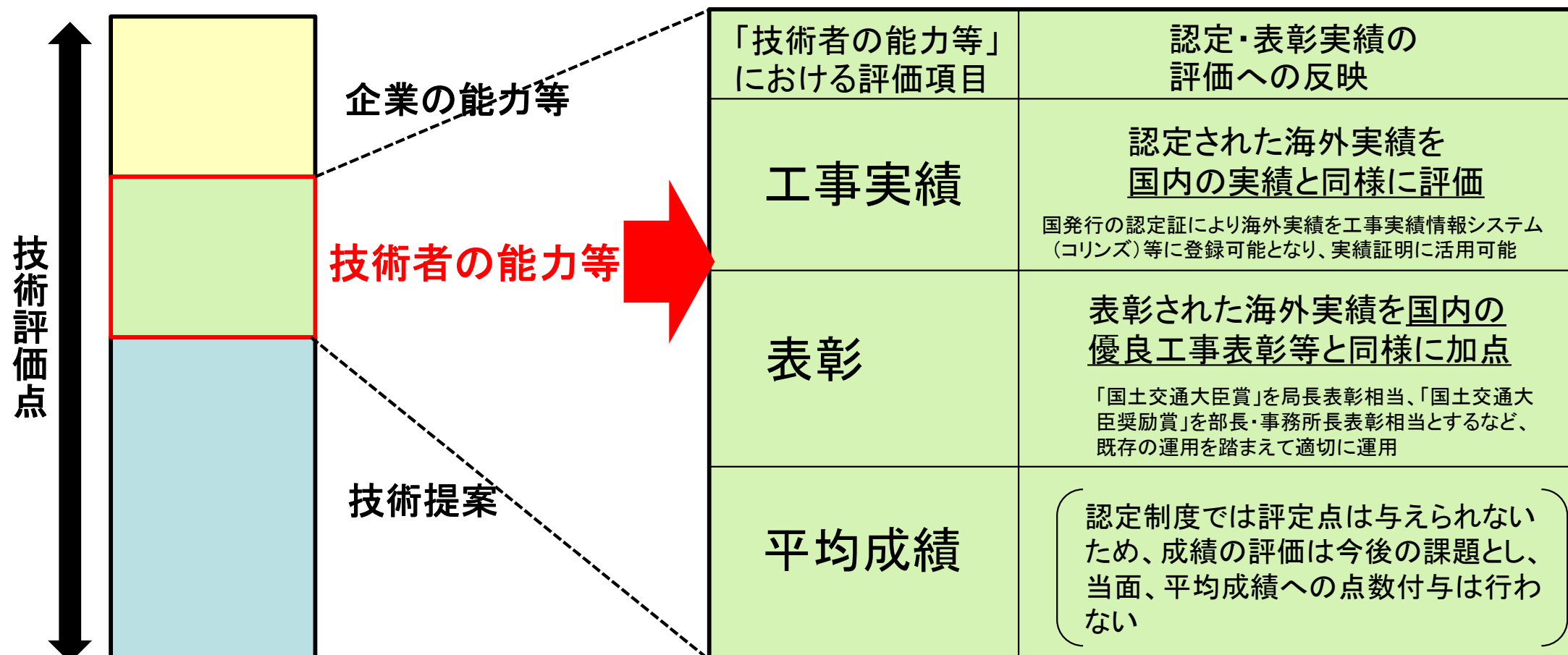
- 本認定によりコリンズ・テクリス等への実績登録が可能に
- 2021年4月～ 認定・表彰された海外工事等の実績を直轄工事等の入札・契約手続（総合評価落札方式）で評価

認定・表彰された実績の直轄工事・業務における評価

- 本制度による海外プロジェクトの認定・表彰実績を2021年4月1日以降に入札契約手続を開始する直轄工事・業務の入札・契約から評価に活用。
- 認定実績を同種工事等の実績として認めるとともに、表彰実績を国内での優良工事表彰等と同等に加点評価。
- 直轄工事等で海外工事等の実績が国内実績と同様に評価されることで、技術者が海外で活躍できる環境を整備。

■直轄工事等における認定・表彰の評価への活用（イメージ）

総合評価落札方式における技術評価



※工事の「技術提案評価型」の場合の例

「海外インフラプロジェクト技術者評価委員会」について

設置目的

- 国土交通省において、海外インフラプロジェクトに従事した技術者の実績の認定を行う（以下「認定制度」という。）とともに、そのうち特に優秀な技術者を表彰する（以下「表彰制度」という。）「海外インフラプロジェクト技術者認定・表彰制度」について、実績認定基準の検討及び実績認定、並びに表彰受賞者の選考基準の検討及び受賞者の選考について審議し、両制度の運用等について有識者から合同で意見を聴取する。

構成員

委員長	小澤 一雅	政策研究大学院大学教授	行政委員	廣瀬 昌由	国土交通省 技監
委員	池田 龍彦	横浜国立大学 名誉教授	行政委員	田中 由紀	国土交通省 国際統括官
委員	加藤 佳孝	東京理科大学 教授	行政委員	中崎 剛	国土交通省 大臣官房技術総括審議官
委員	蟹澤 宏剛	芝浦工業大学 教授	行政委員	小笠原憲一	国土交通省 大臣官房海外プロジェクト審議官
委員	北野 尚宏	早稲田大学 教授	行政委員	沓掛 敏夫	国土交通省 大臣官房技術審議官
委員	廿枝 幹雄	独立行政法人国際協力機構 理事	行政委員	佐藤 由美	国土交通省 大臣官房官庁営繕部長
委員	山田 菊子	(株)ソーシャル・デザイナーズ・ベース 取締役COO	(委員は五十音順・敬称略) ※所属は2025年2月現在		
委員	山田 邦博	(一財)日本建設情報総合センター 理事長			

開催状況

第1回委員会（2024.6.17） 第2回委員会（2024.12.24）

実績認定件数

	認定数
受付企業等数 (申請企業等数)	20社 (20社)
認定証発行事業数 (申請事業数)	44事業 (45事業)
認定証発行者数 (申請者数)	183名 (232名)
認定証発行件数 (申請件数)	194件 (248件)

大臣賞及び奨励賞 表彰件数

	表彰者数			大臣賞			奨励賞		
		工事	業務		工事	業務		工事	業務
合計 (応募数)	14名 (28名)	9名 (21名)	5名 (7名)	11名	7名	4名	3名	2 名	1名

2024年度海外インフラプロジェクト優秀技術者 国土交通大臣賞
2024 Minister's Award for Outstanding International Infrastructure Engineer

(五十音順・敬称略)

氏名	企業名	国/地域名	プロジェクト名	工事／業務	分野
菅野 孝美	川崎地質株式会社	ベトナム社会主義共和国	ダラット市2地区地すべり対策(集水井)(1)調査設計施工グエン・バン・チョイ通り工区	業務	その他／都市
佐々 優子	株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル	インド共和国	バラナシ国際協力コンベンションセンター建設事業	業務	建築／その他
佐々木 啓次	株式会社 大林組	ラオス人民民主共和国	ナムニアップ(NNP)1水力発電所建設工事	工事	電力
重山 琢治	三井住友建設株式会社	カンボジア王国	国道5号線改修事業(プレッククダム～スレアマアム区間)CP1	工事	道路
千田 隆行	東亜建設工業株式会社	コートジボワール共和国	アビジャン港穀物バース建設事業	工事	港湾
竹田 善彦	八千代エンジニアリング株式会社	インドネシア共和国	中部スラウェシ州復興計画策定及び実施支援プロジェクト	業務	複合
塔野 太	飛島建設株式会社	ルワンダ共和国	キガリ市ゾベ-ノトラ間送水幹線強化計画	工事	上水道
林 伸幸	佐藤工業株式会社	シンガポール共和国	地下鉄トムソン線UPPER THOMSON駅及びトンネル工事 T212工区	工事	鉄道
原 和浩	株式会社 安藤・間	ミャンマー連邦共和国	東西経済回廊改良事業、パッケージ1、ジャイン・コーカレー橋建設事業	工事	道路
福井 朝行	東亜建設工業株式会社	コートジボワール共和国	アビジャン港穀物バース建設事業	工事	港湾
眞井 隆二	株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル	インドネシア共和国	西ジャワ州ジャカルタ首都圏LRT建設施工監理コンサルティングサービス	業務	鉄道

2024年度海外インフラプロジェクト優秀技術者 国土交通大臣奨励賞

2024 Minister's Encouragement Award

for Outstanding International Infrastructure Engineer

(五十音順・敬称略)

氏名	企業名	国/地域名	プロジェクト名	工事／業務	分野
大森 慎也	株式会社 大林組	ラオス人民民主共和国	ナムニアップ(NNP)1水力発電所建設工事	工事	電力
鈴木 悠介	株式会社オリエンタルコンサル タンツグローバル	フィリピン共和国	新マクタン橋建設事業準備調査及び詳細設計調査【有償勘定技術支援】 (フェーズⅡ)	業務	道路
濱地 洋平	東洋建設株式会社	ケニア共和国	モンバサ港開発事業フェーズ2 CP1	工事	港湾/ 物流